

2007年1月開発と権利のための行動センター総会資料

総会開催日2007年1月7日

目次

1:2006年度活動報告

2:2007年度活動計画

別添:2006年度会計報告

2007年度予算案

1:開発と権利のための行動センター 2006年度の活動報告

A)先住民族の自然資源への権利確立のための活動

グアテマラの先住民族が、先住民族の権利と自然資源への権利のあり方を考えるための諸活動を支援していく。グアテマラ先住民族組織間の意見交換のスペース拡大と情報の共有を通じて、先住民族が自ら決めていく力を持つための支援である。

●2006年3月 ニカラグア大西洋岸の経験共有セミナー開催支援

ニカラグア大西洋岸で先住民族の権利の確立のために活動しているロティ・カニンガム氏を招へいしてのセミナーの調整および一部経費を支援。

●先住民族組織活動支援

グアテマラの「先住民族・農民全国調整委員会」の「先住民族委員会」(先住民族の権利確立、文化振興を担当)における人材確保をサポートし、またこの委員会を通じて先住民族の自然資源への権利に関する活動の展開を支援。(2005年7月より2006年3月)

この担当者が先住民族の権利確立のために、この組織内もしくは組織間の連携のための諸活動の調整等を行う。

●イサバル県における自然保護区の住民管理強化支援

上記の二つの活動とも関連づけつつ、イサバル県における自然保護区の住民管理を強化するための活動の支援。(これは日本ラテンアメリカ協力ネットワークのイサバル県での参加型農村開発および保護区の住民管理のためのプロジェクトの実施の調整監理を委託されて行っていたものと重複します。)

●情報収集・発信

グアテマラにおける鉱山開発に関して、情報を収集するとともに、スペイン語版のWebサイトを立ち上げて情報の発信を行ってきました。

<http://homepage3.nifty.com/CADE/Espanol/mineriaindex.html>

また日本語でも継続的なフォローを実施

<http://homepage3.nifty.com/CADE/guatemala/Guatemala%20indigena%20y%20medio%20ambiente.htm>

ブログ <http://cade.cocolog-nifty.com/ao/cat4745721/index.html>

B)スタン台風被災者への復興支援プロジェクト立ち上げのための取り組み

12月の調査に基づき、スタン台風被災者復興支援プロジェクトを立ち上げるため、新潟・国際協力ふれあい基金、地球市民財団、ボランティア貯金、神奈川県国際交流協会などに助成金を申請。

また復興支援確保のためのキャンペーンも継続。

最終的に2006年10月よりサンマルコス県での持続的な農村開発のためのプロジェクトを開始することになる。

また 2006 年入り、現地の状況を鑑みた上で、被災住民への追加的食糧購入費としてサンティアゴ・アティランの農民組織を通じて1700ドルを提供。138家族向けの約一ヶ月分のトウモロコシの購入に利用。

C) サンマルコス県における農村開発プロジェクトの立ち上げとそのための現地訪問・調整

「かながわ民際協力基金」の助成金をうけ、サン・マルコス県における参加型農村開発支援プロジェクトを 2006 年 10 月より開始。

またその調整他の目的で当会理事の青西を9月21日より10月7日にかけてグアテマラへ派遣。

D) その他

- * インターネットを通じた情報発信
- * 行動センターのこれまでの活動をまとめた冊子の作成
- * アナさん招へいへの協力
- * 農民リーダー殺害に対する緊急行動
- * ナマケモノ倶楽部要請に対する協力 (エクアドル環境活動家 人権侵害抗議)
- * イサバル県エストールにおける農民排除に対する声明発表

なお活動の詳細に関しては、別途作成の活動報告資料も参照のこと。

E) 運営面に関して

- * 代表不在に際しては、事務局長また代表代行が助成金の申請手続き等を実施。
- 今後も、適宜、必要に応じて、理事会内で不在時の対応等を行う。

2006年	ハリケーン・スタン復興支援 先住民族の自然資源への権利確立のための活動 インターネットによる情報収集発信
2006年1月28日	「グアテマラハリケーン復興支援の会」主催の報告会 後援
2006年2月25日	＜ハリケーン襲来から3ヶ月を経て ～グアテマラからの報告
2006年3月	先住民族の土地とテリトリー開催支援 (参加者交通費支援、講師交通費一部支援)
2006年3月まで	グアテマラ先住民族組織、先住民族委員会担当職員給与支 援
2006年4月	グアテマラ農民リーダー殺害に対する緊急行動
2006年5月	スタン被災者 食糧援助追加投入(1700ドル)
2006年9月-10月	代表 青西 グアテマラ視察
2006年10月-	サンマルコス県での農民組織支援プロジェクト開始

理事

代表 青西靖夫

代表代行 木村剛

理事(事務局兼任) 栗田桂子

2: 2007年度の活動計画案

A) グアテマラ国サン・マルコス県における参加型農村開発支援

サンマルコス県高地における持続的な農村開発のため、MTCのメンバーである高地の4つの農民アソシエーションの組織的強化と技術的な支援のために大きく次のような事業を行っていきます。

1) アソシエーションとMTCによる参加型の農村調査による現状分析

1) 必要とされる技術的研修の実施とその普及

3) 農民組織間の経験交流

4) アソシエーションに対する助言活動

またアソシエーションの女性メンバー(女性グループ)の強化にも取り組んでいきたいと考えています。

B) 先住民族の自然資源への権利確立のための活動

B-1 自然保護区に関わるコミュニティ間連絡会議強化(イサバル)

イサバル県におけるプロジェクトの継続として、自然保護区の「コミュニティ間連絡会議 Consejo Inter-Comunitario CIC」の強化を継続する。自己資金もしくは助成金を利用して、年間1000ドルから1500ドルのレベルでCIC強化を継続する方向を目指す。

B-2 地域の住民組織強化、先住民族組織連携強化

各地の先住民族組織、コミュニティなどの強化のための研修や交流事業の実施、また先住民族組織間の連携を強めるためのワークショップの開催など

B-3 先住民族による自然資源の管理および利用に関する事例の収集・分析

今後の活動を的確に行うため、グアテマラおよび将来的には中米各国における「先住民族による自然資源の管理」に関わる調査事業を実施する。(地球環境基金へ申請の予定)

C) 連帯経済のあり方を検討するための事前調査

CONICに参加するコミュニティを対象とした連帯経済、オータナティブな生産物流通のあり方を検討し、またそのために必要な情報を収集するための事前調査の実施

C) その他

* 当会の目的に沿って必要と思われる、調査研究、現地支援活動の実施、またそのために必要な資金獲得のための諸活動の実施。

* 特に、半額助成である神奈川民際協力基金の自己負担分約2000ドルをカバーするための自己資金源拡大のキャンペーンが必要である。

* また上記の活動のために必要な人材の派遣を行う。

D) 役員改選の件

現在の規約で当初の役員の任期は2007年2月末と定めており、役員任期は現行規約16条で2年とされていることから、今回の総会にて次期の理事を選出する必要があります。立候補される会員の方は連絡をお願いします。(締め切りは12月23日とします)

次期役員候補 (立候補)

代表理事 青西靖夫

理事(代表代行) 木村剛

理事(事務局兼任) 栗田桂子